

# 新たな「北陸圏広域地方計画」【概要】

資料2-1

## 【北陸圏広域地方計画の意義】

- 北陸新幹線の延伸等により変わりつつある北陸の将来像を描く
- 半島地域や山間部を始めとした人口減少・高齢化の対応

- 北陸新幹線等の広域交通網の着実な整備とこれらのストック効果を最大化
- 首都直下、南海トラフ地震など災害リスクにの高まりへの対応

### 課題-1

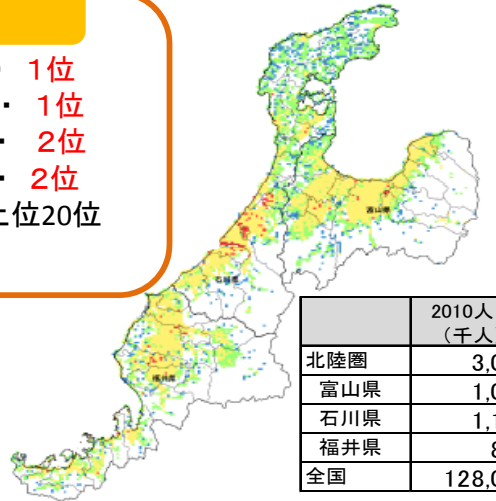
・働きやすく、子育てしやすい優れた生活環境である一方で、**若年層を中心とした人口が流出し、人口減少・高齢化の進行が早い。**

⇒ **コンパクト+ネットワーク、「小さな拠点」整備**

#### 北陸圏の暮らしやすさ (他圏域と比較)

- 持ち家率…………… 1位
- 待機児童数の少なさ・ 1位
- 三世同居率…………… 2位
- 世帯収入…………… 2位
- 住みよさランキング上位20位中10都市ランクイン

#### ●2010年と比較した2050年の人口増減



|     | 2010人口 (千人) | 2050人口 (千人) | 人口増加率 |
|-----|-------------|-------------|-------|
| 北陸圏 | 3,069       | 2,191       | -29%  |
| 富山県 | 1,093       | 744         | -32%  |
| 石川県 | 1,170       | 884         | -24%  |
| 福井県 | 806         | 563         | -30%  |
| 全国  | 128,057     | 97,076      | -24%  |

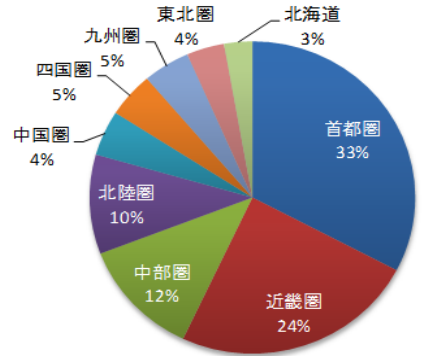
### 課題-3

・北陸新幹線開業への期待が大きく、さらなる**観光や産業交流の実現のための取組や広域交通体系の整備**が望まれている。

#### ●北陸の社会基盤整備状況



#### ●多数の世界ニッチトップ企業



グローバルニッチトップ企業100選に選ばれた北陸圏の企業

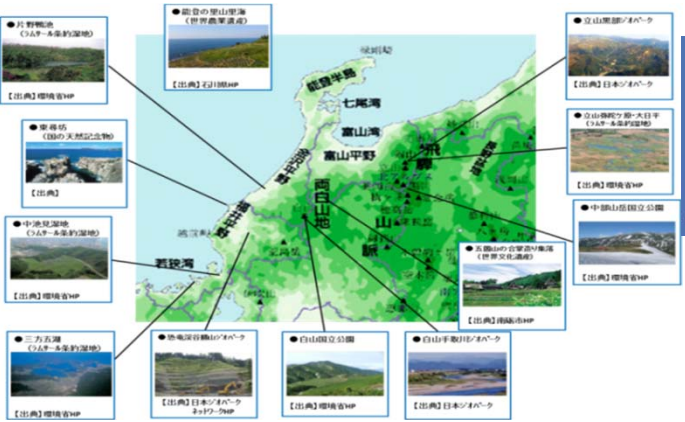
### 課題-4

・太平洋側の災害リスクの高まりに伴う**本社機能移転**や、**防災面での代替性を発揮するネットワークの強化**など、切迫した課題への対応が急務

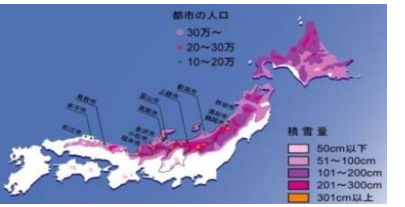
### 課題-2

・**厳しい自然環境**の反面、豊かな自然資産、観光資産を有する

#### ●豊富な自然資源



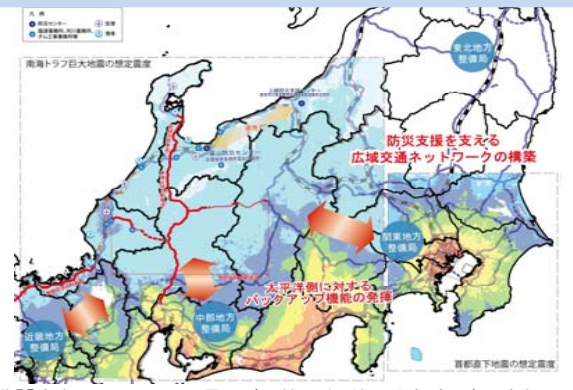
#### ●生活や産業活動に影響をもらす降積雪



平成18年豪雪  
【出典】福井県HP

#### 本社機能等の移転

- 【YKK】(富山県)
- ・東京本社勤務の200人を黒部へ。
  - ・人材や製造拠点の集積など、北陸はものづくり拠点として強みがある。
  - ・多様な人が共生できる開かれた地域環境を整えていく必要がある。(YKK吉田会長インタビューより)
- 【コマツ】(石川県)
- ・ものづくりコスト優位性や、石川県のアクセス改善を機に本社機能を移転。



【出典】「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)追加資料」(内閣府 平成24年8月29日公表)及び「首都直下地震防災・減災特別プロジェクトにおける震度分布図」(文部科学省 平成24年3月20日公表)をもとに北陸地方整備局作成

# 北陸圏の将来像

## 【北陸圏の位置付け】

「厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」

## 【北陸圏の将来像】

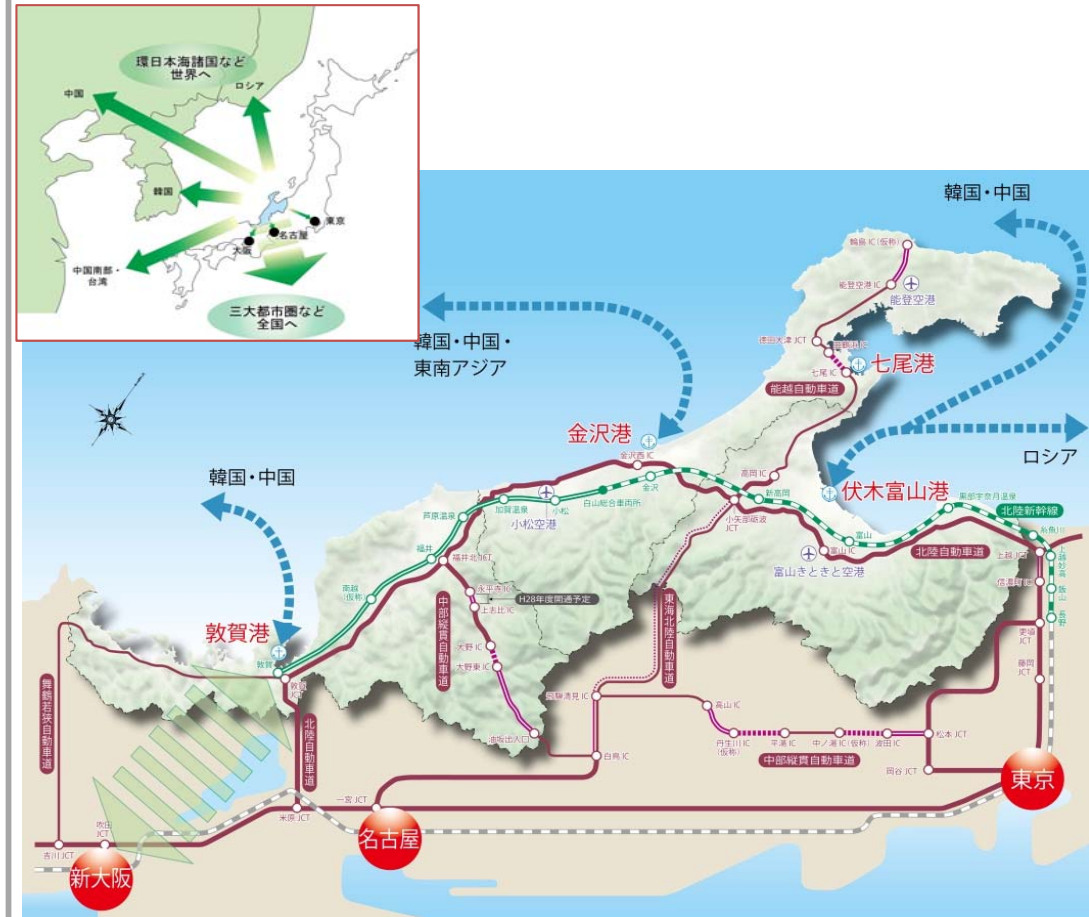
- 暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く 新・北陸
- 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

＜将来像のイメージ＞

### ■北陸における連結型都市形成イメージ



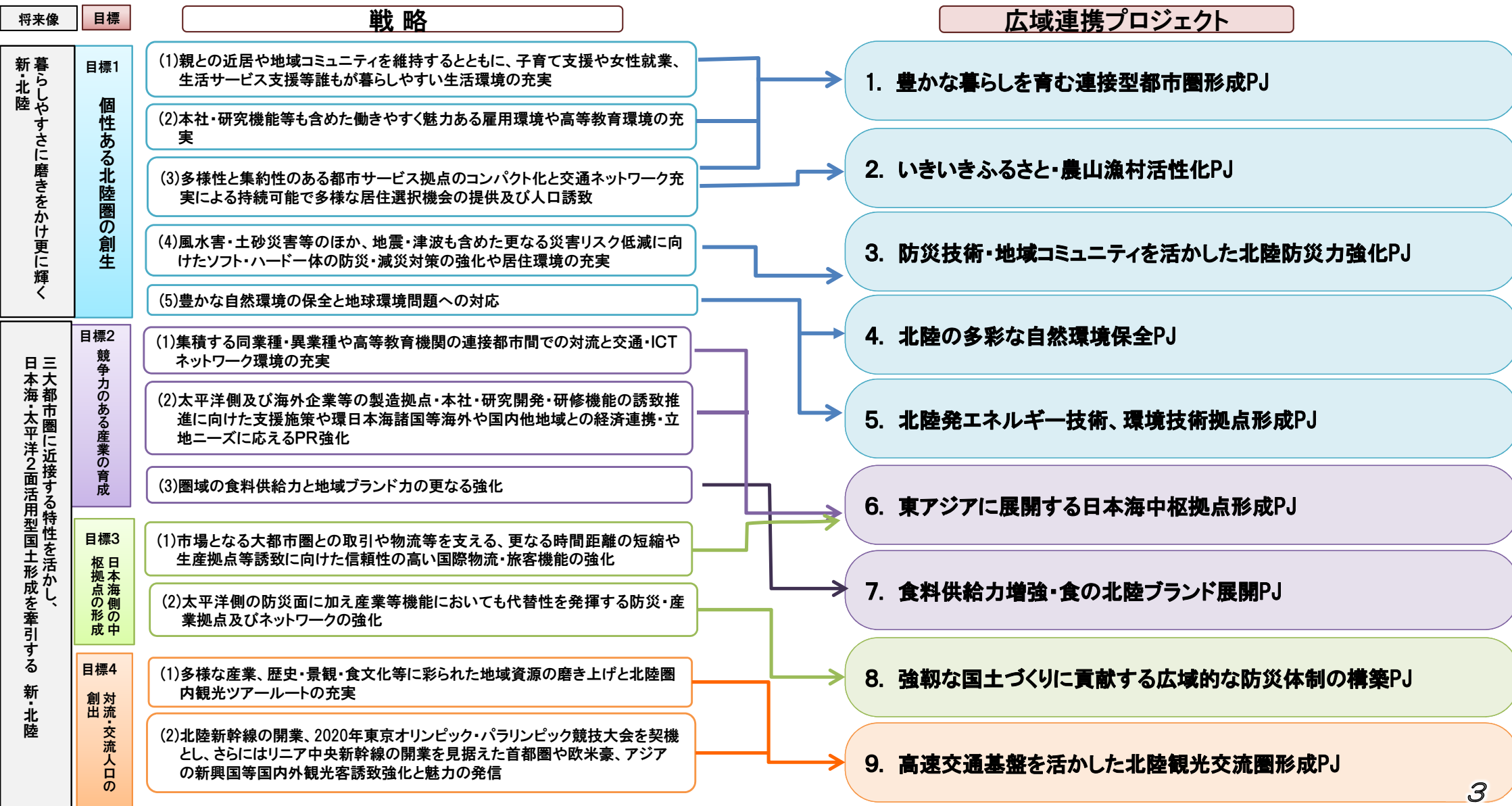
### ■日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引





# 広域連携プロジェクト

北陸圏の将来像を実現するための4つの目標と12の戦略を効率的に推進するとともに、早期かつ相乗的に達成効果を発現、波及させていくため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携・協力して以下の9つのプロジェクトに取り組んでいく。

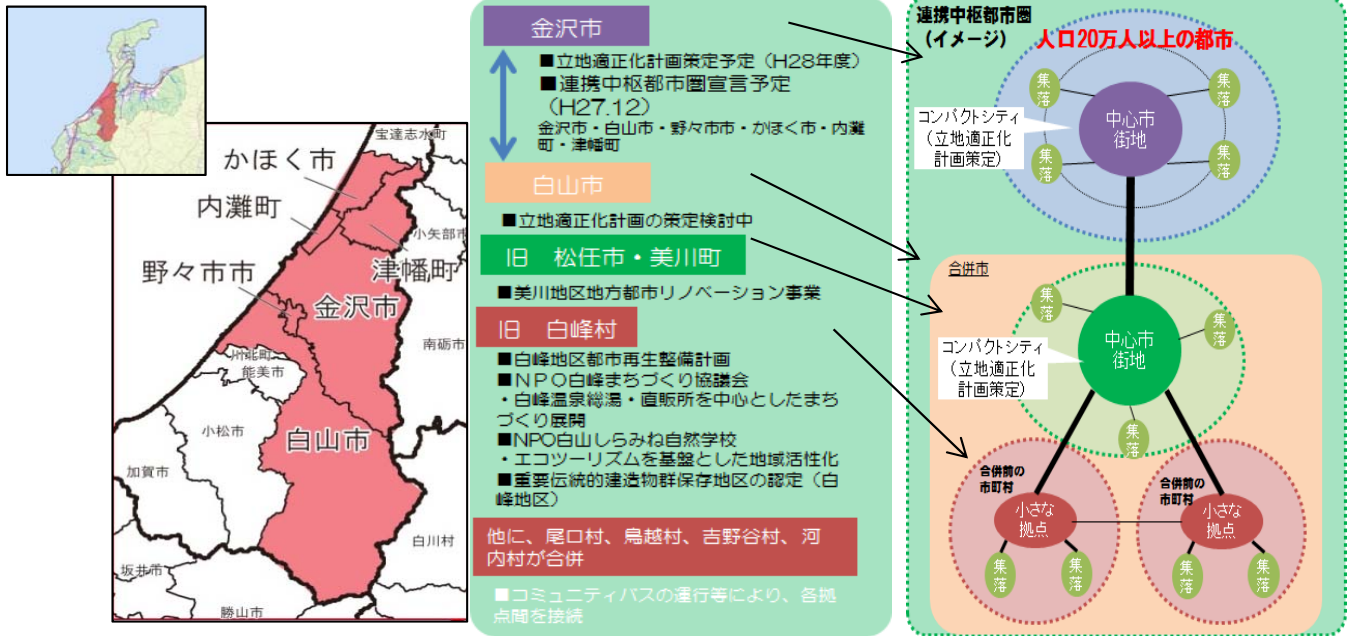


# 具体的な戦略① 重層的かつ強靱な「コンパクト+ネットワーク」の形成

- 家族や地域コミュニティの結びつきが強い地域特性を維持し、愛着あり住み続けることができる「**小さな拠点**」づくりを推進
- 接続する都市間の連携強化や都市機能の集約化・機能向上を図るとともに、都市と農山漁村が近接する特徴を生かして、それぞれが**特色のあるまちづくり**を展開。
- 人口減少・過疎化に歯止めをかけ、北陸新幹線の開業効果を圏域全体に波及させ、**地域活力を持続的に発展**

## 連携中枢都市圏の形成

【例：連携中枢都市圏の取組(金沢市・白山市等)】



## 小さな拠点の形成

【例：ふるさと茶屋の取組(福井県)】

- ・空き家や既存施設を有効活用し、住民が寄りあう場所や地元の農産物の販売を行う拠点を整備



高浜町が地域活性化の拠点として整備する古民家「観自庵」の母屋 (左) と離れ=高浜町高野で

【出典】中日新聞CHUNICHI Web

## コンパクトシティの形成

【例：コンパクトなまちづくり(富山市)】

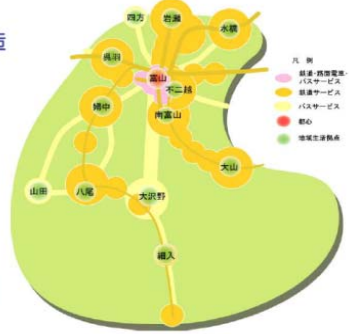
- ・鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、**公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり**を実現

＜概念図＞  
富山市が目指すお団子と串の都市構造

串：一定水準以上のサービスレベルの公共交通

お団子：串で結ばれた徒歩圏

- ＜実現するための3本柱＞
- ①公共交通の活性化
  - ②公共交通沿線地区への居住促進
  - ③中心市街地の活性化



## 若年層の定着 (地域活性化担い手人材の育成)

【例：伝統工芸職人塾(福井県)】

福井県の伝統工芸の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して、将来、産地内に定住して対象の工芸品製造業に従事する強い意志を有する者に対し、1年間、職人の育成に取り組む。



# 具体的な戦略② 競争力のある産業の育成と日本海中枢圏域の形成

- ニッチトップ企業や特定の産業の集積と、交通・ICTネットワーク環境の充実を活かし、産・学・研連携により**新産業の創出や加工製造の高付加価値化**を促進し地域産業を牽引する産業クラスターを形成
- 北陸新幹線開業を始めとする広域高速交通ネットワークの充実を最大限活かし、三大都市圏や海外からの**企業の製造拠点・本社・研究開発機能や研修機能等の誘致**を進め、**安定した魅力ある雇用環境の創出と人材育成機能の強化**を推進
- 東アジア諸国の経済活動の活発化を背景に増加する日本海側物流貨物に対応し、**道路・鉄道・港湾・空港と産業活動が連携して物流機能を強化**

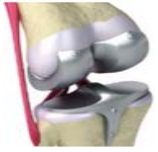
### 医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成

**【北陸ライフサイエンスクラスター】**  
 富山・石川・福井の3県が、ライフサイエンス分野の地域イノベーションの創出にむけ、**産学官金37団体と連携した取組**。  
**【研究例】**  
 チタン微細加工ならびに異なるチタン接合技術により**生体適合性のよい外科用インプラント**を作製加工の難しいチタンを用いて、外科用インプラントを作成。

**福井大医学部** × **(株)シャルマン**

(株)シャルマンから研究者を招聘し共同研究

眼鏡フレーム製造の技術を生かし、医療機器業界に参入



### 【コンポジットハイウェイ構想】

金沢工業大、名古屋大、岐阜大等が連携し、炭素繊維複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界的な一大拠点を目指す。

**北陸**

- ・繊維産業・新素材産業の技術蓄積
- 炭素繊維複合材料の研究開発・生産



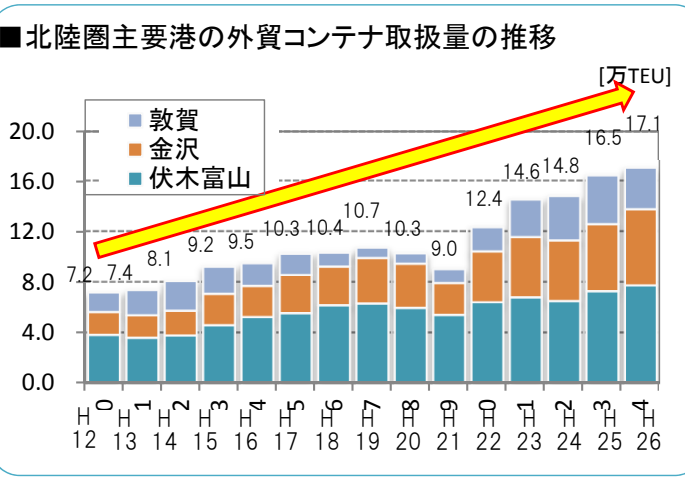
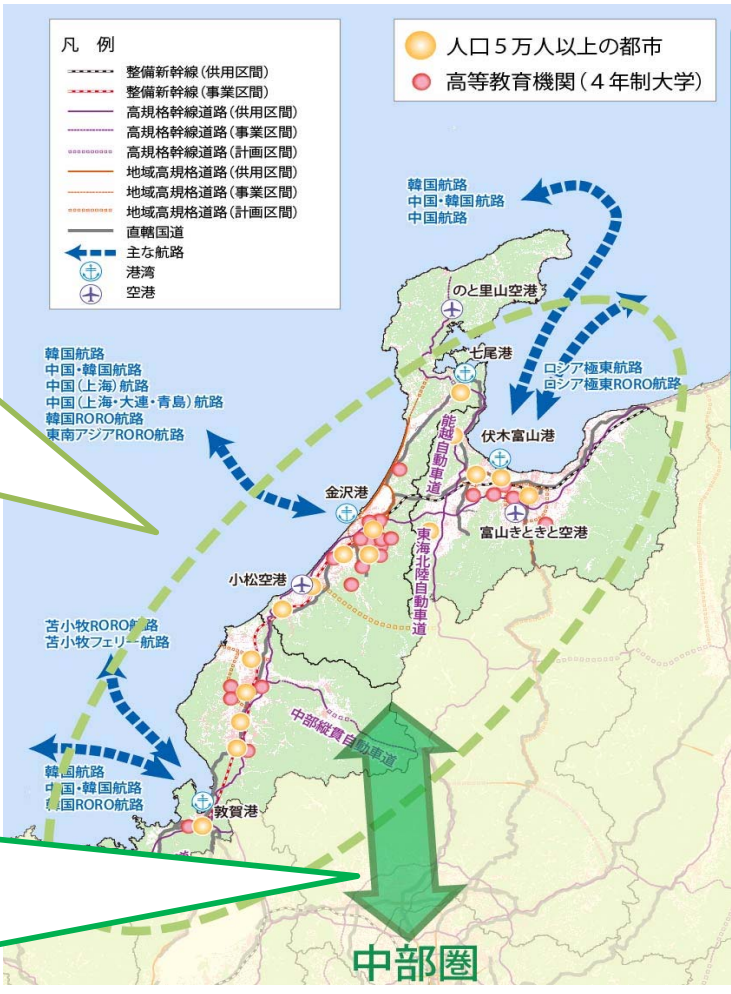
炭素繊維    プリプレグ

**中部**

- ・自動車・航空機等メーカーの集積
- 炭素繊維複合材料の応用研究、加工・組立



→ 連携 →



### 本社機能等の移転

**【YKK】(富山県)**

- ・東京本社勤務の200人を黒部へ。
- ・人材や製造拠点の集積など、北陸はものづくり拠点として強みがある。
- ・多様な人が共生できる開かれた地域環境を整えていく必要がある。(YKK吉田会長インタビューより)

**【コマツ】(石川県)**

- ・ものづくりコスト優位性や、石川県のアクセス改善を機に本社機能に移転。

# 具体的な戦略③ 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成

- 北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、**国内外、隣接圏域との広域的な対流・交流を創出**
- 多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた**地域資源の磨き上げ**と**広域圏観光ルート**の充実
- 国内外に向けた周遊型観光プロモーション**を推進

## 広域観光ルートの構築

テーマ性・ストーリー性を有する魅力ある観光地域のネットワーク化による広域観光ルートを形成する。



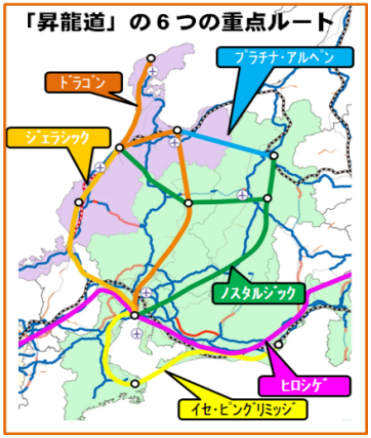
【出典】みんなで作る新北陸マガジンHP

## 【昇龍道プロジェクト】

能登半島を龍頭に見立て、北陸中部9県を中華圏に人気の龍をモチーフとした「昇龍道」と命名し、この観光エリアの知名度向上及びインバウンド推進を官民挙げて実施

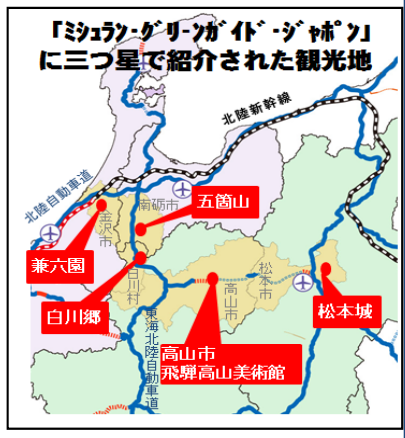


台北で開催された旅行博に出展し、昇龍道の魅力を紹介  
【出典】中部運輸局



## 【三つ星街道】

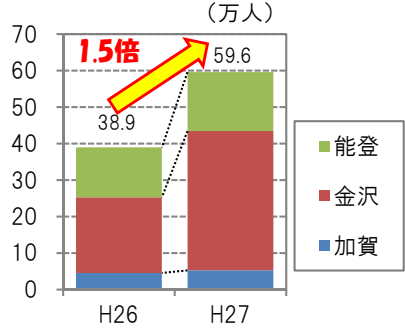
「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で「三つ星」として紹介された兼六園、五箇山、白川郷、飛騨高山、松本城を広域観光ルート「三つ星街道」と命名、沿線市村等が連携し、観光誘客に向けPRを実施



■北陸新幹線の開業による観光入込客数の増加



ゴールデンウィーク中の主要観光施設入込客数(石川県)



4月～8月の主要観光施設入込客数(富山県)

